

学校の働き方改革の具体例

県内外の多忙化解消事例

《学校行事や校務組織・分掌の精選・合理化》

- ・ 児童・生徒会や高学年担当等多忙な分掌に配慮し分掌担当見直しや業務平準化を行った。
- ・ 入学式・卒業式の生徒発表を縮減・廃止した。
- ・ 年度当初の業務の計画をなだらかにした。
- ・ 運動会競技を一人3種目（短距離走、興味走、表現）にし、親子競技は廃止にした。
- ・ 運動会では、既存用具を活用するほかマスコットの廃止や午前開催等にした。
- ・ 自転車教室を廃止した。登下校時の自転車の運搬が危険であるため、自転車の練習や交通安全指導は保護者にゆだねた。
- ・ 学習発表会で音楽の発表をする場合は、教科書にある楽曲に限定した。
- ・ 学習発表会をやめ、学習参観時の音読発表や合唱・合奏、総合のまとめ発表に替えた。
- ・ 整理棚を職員室の壁面に設置し、ファイルを取り出しやすくした。
- ・ 職員室内の動線を考え、プリンターや移動の妨げになるものの場所を変更した。

《文書・統計処理・会計処理の合理化・ICT化》

- ・ 学級経営案のスリム化（A4半分に）を行った。
- ・ 学校及び学年だよりの巻頭言や行事欄は管理職が担当するなどスリム化を行った。
- ・ 長期休業中のしおりは全学年の形式を統一した。
- ・ 学年や学級の会計事務を2学期制にした。

《会議・研修の改善》

- ・ 会議終了時間の厳守と勤務時間内の実施、及び資料事前配布を行った。
- ・ 「研修のまとめ」「研究紀要」を廃止した。
- ・ 初任者研究授業の指導案は板書計画のみとした。
- ・ 指導案を「ねらい」「学習課題」「手だて」「評価」などの数項目のみとした（指導案の点検の時間も短くてすみ、研究主任、教務の負担が大幅に減った）。
- ・ 朝礼、終礼を週に1、2回にした。
- ・ 研修や職員会議を大幅に減らした。
- ・ 授業指導案の確認は教務までとした。
- ・ ケース会議を勤務時間内に実施した。

《児童・生徒の活動に係る負担軽減》

- ・ 祭礼巡視を廃止した。
- ・ さわやか（あいさつ）運動を縮減した。
- ・ 授賞集会をやめ、授賞者の写真の掲示に替えた。



《事務・書類に関すること》

- ・ 小学校では、通知表の所見を「学習」「行動」「英語（外国語）」「総合」「道徳」「特別活動」を年間通して1回ずつの記入とした。
- ・ 中学校では通知表所見を廃止し事実のみとした。
- ・ 通知表所見文末を常体とし要録にも同様に転記した。
- ・ 指導計画、成績一覧表様式変更で作業量を縮減した。
- ・ 物品購入における学年事務を簡略化した。

《行事に関すること》

- ・ プール開放日を縮減した（PTAも分担）。
- ・ 家庭訪問を廃止もしくは希望制等にした。
- ・ 宿泊学習を1泊に（立山登山廃止）した。
- ・ 登下校の見守りを行わないことにした。
- ・ 学習参観日や登校日の回数減を行った。
- ・ 個別懇談会を年1回にした。
- ・ 夏休みの巡回指導をなくした。
- ・ 多忙化解消案を日常的に管理職に伝え相談した。

《PTA・地域に関すること》

- ・ 週休日における部活動を総合型スポーツクラブに移行（保護者会開催・クラブ規約作成・調整等）した。
- ・ ラジオ体操の学校主導をやめ、家庭・地域の自主的な活動として行うようお願いした。ラジオ体操カードの回収をやめた。
- ・ 行事削減を事前にPTAや地域、保護者に理解を求め了承を得た。
- ・ 地域行事の教員参加縮減について、校長が地域と交渉した。
- ・ 交通安全当番を廃止した。
- ・ 地域文化祭への作品出品を平面のみとした。

《時間管理に関すること》

- ・ タイムカードを設置した。
- ・ 成績処理時間確保のため授業、清掃、部活動等をカットした。
- ・ 留守番電話を設置したり、電話対応の上限時間の設定をPTAが行ったりした。
- ・ 登下校時間を見直した（開錠時間を15分遅らせる・下校完了を20分早める等）。
- ・ 午前中を5時間授業として午後の活用幅を拡大した。



- ・ 書類や文具を整理した（机の中を機能的で見やすくし、目的物を探す時間を短縮）。

